

335 被災者にシャワーを！組立式シャワーの開発

取組主体	法人番号	事業者の種類（業種）	実施地域
株式会社タニモト	9120901024639	その他防災関連事業者 （製造業）	大阪府

1 取組の概要

組立式コインシャワーの開発・販売

- 平成7年の阪神・淡路大震災では、食料・毛布・衣服等様々な救援物資が全国から送られたものの、トイレや風呂は不足したため同社はユニット式シャワーを神戸市に寄付し、避難所等に設置した。
- ユニット式シャワーは、建物施設に付帯するシャワー設備に比べて水や熱源が節約でき、プライバシーも守られるため、被災者に好評だったが、大型トラックでの搬入が必要なため、建物の倒壊現場等で搬入できない、あるいは搬入に時間を要する等の課題があった。
- 株式会社タニモトは、組立式のコインシャワーを開発・販売している。同製品は、現地で簡単に組み立てることができる。このため、災害時の備蓄設備として備蓄できるほか、従来のユニット設備では運び込みが困難な場所であっても搬入できる。



▲組立式コインシャワー

2 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

被災地でも運び込みやすい可搬性を重視した組立式シャワー

- 搬入がネックとなった教訓を生かし、同社では簡単に持ち運びができ、設営の場所を選ばず燃料が途絶えた場所でも使用できる組立式コインシャワーを開発した。
- 大人3、4人で持ち運ぶことができるよう、一般に使用されている繊維強化プラスチックに比べて、軽量の部材を採用するとともに、収納時は、軽トラックでも運搬できるサイズとした。
- また、可搬性と機動性を重視し、シャワーユニットの部品はすべて本体内に収納できるようにし、組立に工具は必要なく、要する時間も約15分程度となるよう工夫した。



▲収納時の同製品

避難所での利用を念頭においた設計

- 避難所での利用を想定し、利用人数から必要な水量を計算できるように、毎分の出湯量を9ℓと一定とした。また、排水はトイレ水洗等に二次利用もできる。